

蓄音機の普及

それまでとは異なる方式の円盤式蓄音機は、マイクロフォンの発明者でもあるエミール・ベルリナーが1887年に発明しました。レコードの形状を円筒型から円盤型にしたことにより、プレス技術による大量生産が可能になりました。これにより安価な音楽ソフトが販売されるようになり、蓄音機も普及していきました。当時のレコードはSP (Standard Play) レコードと呼ばれ、材質はシェラックという天然樹脂を使用しています。また、円筒型レコードでは録音面に垂直方向の振動(縦振動)を与えて録音したのに対し、円盤型レコード水平方向の振動(横振動)を与えて録音したことも異なります。

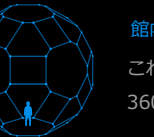
Popularization of the phonograph

In 1887, disc phonograph, different from the conventional cylinder phonograph, was developed by Emil Berliner, who invented the microphone. Changing the shape of the record from a cylinder to a disk made it possible for mass production using press technology. Low-priced music software was put on the market along with the popularization of the phonograph. Records at the time were called SP (Standard Play) records made with natural resin called shellac. The cylinders are recorded by vibration perpendicular to the recording surface, whereas the disks are recorded by horizontal vibration.

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.